

あい じつ そう

愛日荘一〇〇年

大正時代—保田を愛した歌人や画家たち



石原純

原阿佐緒

金森南耕

山内多門

鰭崎英朋

彼らが残した

房州への愛…



2022年11月22日(火)〜2023年2月5日(日)

休館日 月曜日(祝日の場合翌火曜日)・年末年始(12月29日〜1月2日)

桐乃花あまき粘み茂茂おてやく
ともしれ那かお我ら仲間にもち 純

中阿のきと浪日の園をふりて
あふ隈くせゆりつあき海原阿佐緒

浮世絵の祖出生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

〒299-1908 千葉県安房郡鋸南町吉浜5-1-6 ☎0470-554061

◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分
富津館山道路 鋸南保田10より5分
国道127号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9時〜17時(入館16時30分まで)

◆入館料 一般・大学生 500円(4000円)
小中高生 400円(3000円)
(団体20名以上料金)



1



2



4



3



5

1. 「幾日荘での石原純・原阿佐緒写真」
2. 「石原純肖像画」原阿佐緒画
3. 色紙「田園」石原純歌・金森南耕画
4. 歌集「幾日」石原純
5. 「石原純・原阿佐緒・金森南耕写真」
6. 「高砂」金森南耕画
7. 「養老の瀧」鯨崎英朋画
8. 「藪谷山荘」山内多門邸額
9. 「山水図」山内多門画



6



7

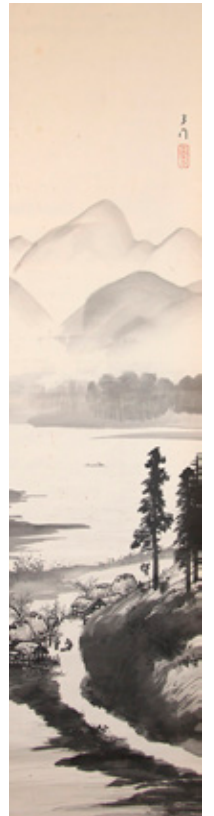
明治から大正にかけて、房総は都会からの避暑や保養に訪れる人々が増えます。汽船や鉄道開通も拍車をかけ、都会に近いその風光明媚な土地にあこがれた文化人も多く訪れました。特に安房の玄関口である保田(千葉県鋸南町)を愛した文人は多く、保田に移り住み創作活動に専念した画家の金森南耕や山内多門、アラギ派歌人として活躍した石原純と原阿佐緒らがあり、彼らを慕う若き芸術家も集い、いつしか保田は文化香る地域として世に知られるようになりました。

大正10年(1921)、当時センセーショナルな出来事として世間に知られた石原純と原阿佐緒の保田への来訪、その翌年からの「幾日荘」(あいじつそう)の新生活。今年ちょうど「幾日荘」誕生100年となります。

この展覧会は、主にこの四人の交流を軸に、保田を愛した彼らが残した作品や足跡をたどり、また地域の人々とのかかわりを交えて、加えて保田ゆかりの画家鯨崎英朋らとともに、大正時代の保田の文化についてあらためて紹介する展覧会です。



8



9

入館割引券

このチラシご持参の方

2割引

(1グループまで)

浮世絵の祖生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYOE MUSEUM

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 TEL 0470-55-4061

◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分

車 富津館山道路 鋸南保田IC下車 国道127号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9:00~17:00 (入館16:30まで)

◆入場料 一般・大学生500円 小中高校生400円 (団体20名以上100円引)

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策をおこなっています。

